令和７年度　第２回地域医療推進部会議事録

１　日　　時　　令和８年２月２０日（金）　第２回帯広市健康生活支援審議会終了後
　　１９：２０～２０：００

２　場　　所　　帯広市役所　１０階　第２会議室

３　出席委員　　稲葉 秀一 部会長、大滝 達哉 副部会長、増井 伸也 委員、中村 貴徳 委員、
　　池添 博彦 委員、岡山 有美子 専門委員、小岩 幹 専門委員

４　会議次第
　（１）前回会議の議事録（案）の確認
　（２）令和８年度健康推進課関係予算（案）について
　（３）その他

５　会議内容
〇事務局
　みなさま、こんばんは。定刻より少し早いですが、出席予定の皆様お揃いですので、ただ今から、令和７年度第２回地域医療推進部会を開会いたします。
　はじめに、本日の欠席委員について、ご報告いたします。事前に住谷委員、結城委員より欠席のご連絡をいただいております。本日の地域医療推進部会、委員９名中７名のご出席をいただいており、出席人数が委員の過半数に達しておりますことから、本日の部会は成立しております。
　それでは、これより議事の進行につきましては、稲葉部会長にお願いいたします。

◎部会長
　それでは早速会議に入らせていただきます。円滑な審議にご協力をお願いします。
　それでは、「（１）前回の会議の議事録(案)の確認について」を議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

　【質疑・意見なし】

◎部会長
　なければ、議事録は了承されたものといたします。

◎部会長
　次に、「（２）令和７年度健康推進課関係予算（案）について」を議題といたします。事務局から、説明願います。

〇事務局
　それでは、令和８年度の健康推進課関係予算（案）につきまして、説明させていただきます。資料は１

と２になります。資料１から説明させていただきます。令和８年度の健康推進課関係予算（案）でありますが、予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。

まず、表の右側に、令和８年度予算を記載しております。Ｂ欄につきましては、人事課所管の職員給与費へ振替を行なった、健康推進課会計年度任用職員の報酬等の予算となっております。左側の事業区分と、右側の令和８年度予算額につきましては、Ａ欄をご覧いただきたいと思います。

まず、上から、保健衛生総務費が４億３千８１０万８千円、そのうち、主なものでは、保健衛生推進費６５８万９千円、公衆浴場対策費１千２００万円、看護師等養成機関確保対策費８千３２２万４千円、帯広厚生病院運営費補助事業費２億１千万円となっております。

前年度からの、主な増減ですが、まず保健衛生推進費について、ＡＥＤのリース契約の期間満了に伴い、予算及び契約事務を各施設所管課に移管する予定のため、減となっているものです。次に、健康増進センター管理費について、燃料費及び光熱水費の節減等により、減となっているものです。

なお、妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、令和２年度の組織再編により健康推進課関係予算として計上しておりますが、従前より児童育成部会で説明していることから、当部会においては予算額のみお示しすることとさせていただきます。

続きまして、夜間急病診療費は２億３千９２８万７千円となっております。内訳といたしましては、休日夜間急病センターの管理運営費が１億２千１４０万６千円、在宅当番や二次救急医療などの救急医療対策費が１億１千７８８万１千円となっております。

前年度からの、主な増減ですが、休日夜間急病センター管理運営費について、利用者の減少により利用料金収入の減少が見込まれることから、当初予算において指定管理料の補填額を計上したため、増となっているものです。

続きまして、予防費は、総額で６億５千３６８万８千円となっており、主なものとしましては、がん検診・健康診査費１億５千１８４万８千円、予防接種費３億５千９０５万８千円、感染症予防費１億３千９０３万５千円、健康教育費２４７万円などとなっております。

前年度からの、主な増減ですが、まず、感染症予防費について、新型コロナワクチンの接種者数が、今年度の接種率を踏まえ減が見込まれることから、減となっているものです。次に、保健・介護一体的実施推進事業について、事業の拡充として新たに身体的フレイルの予防、健康状態不明者対策を実施するため、増となっているものです。

最後に、保健福祉センター費について３千１０６万６千円を計上しております。こちらは、保健福祉センターの管理運営に要する費用でございます。前年度からの、主な増減ですが、前年実施していた大規模な施設修繕がないことから、減となっているものです。

以上、総事業費はＡ欄の歳出予算合計１３億６千２１４万９千円となります。

続きまして、資料２、「令和８年度　健康推進課関係事業の概要（案）」をご覧ください。こちらは、資料１の内訳となります。

左側の保健衛生総務費は４億３千８１０万８千円で、医療体制の整備や医療の人材不足への対応のほか、公衆浴場対策、健康まつりや健康づくりのボランティアの養成、育成など市民の保健予防の推進のための予算となっております。

中央の予防費は、６億５千３６８万８千円で、胃がん、肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの５大がんの検診のほか、各種健康診査、予防接種や感染症予防、結核予防など、疾病の予防、早期発見のための経費と、健康相談、健康教育、訪問指導の経費を計上しております。

右側の夜間急病診療費は２億３千９２８万７千円で、休日や夜間における急病患者に対する診療体制を確保するため、初期救急を担う在宅当番医のほか、二次救急医療や休日歯科診療などの体制確保に必要な経費を計上しております。

右側下の保健福祉センター費は３千１０６万６千円で、保健福祉センターの管理運営に要する経費を計上しております。
説明は以上でございます。

◎部会長
ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

◎委員
資料１の保健衛生総務費の公衆浴場対策費について、公衆浴場に対して補助金を出しているのは、補助金が無いとやってくれないという状況なのか。今は概ね各家庭にお風呂があり、公衆浴場は減ってきていると思うが。

〇事務局
この事業の目的は、お話のあったとおり家庭用のお風呂の普及に伴い、公衆浴場の利用者が減少により経営状況の厳しさがあることから、公衆浴場の確保のための助成を行い、住民衛生の向上・増進に努めるために実施しているもの。

◎委員
同じく保健衛生総務費に、帯広厚生病院運営費補助事業があるが、市内の他の病院には補助等はしていないのか。

〇事務局
帯広厚生病院は、十勝管内で唯一の三次救急として重症患者等の受入れられる機能を備えており、この十勝において無くてはならない医療機関として、機能を維持していかなければいけないということから、帯広市で２億１，０００万円と、１８町村で９，０００万円の、合わせて３億円の補助をしているところ。
お話のあった他の病院について、例えば第一病院や協会病院、北斗病院などの大きな病院があるが、そちらは二次医療として入院が必要な患者の受入れを担っていただいており、補助ではなく委託料という形で体制を整えてもらっており、そのための費用を帯広市と１８町村で支出しているところ。

◎部会長
補足すると、資料２の右側の夜間急病診療費中、二つ目の〇の救急医療対策費の上から二つ目に記載されている「二次救急医療」が、事務局から説明のあった二次医療を担っている医療機関への委託料の予算である。

◎委員
資料２の予防費にエキノコックス症予防があるが、帯広市でもエキノコックス症に罹患している方がいるのか。

〇事務局
帯広市ではエキノコックス症検診（血液検査）を実施しており、今まで陽性だった方はいない。

◎委員
　資料２の予防費の保健・介護一体的実施推進事業費について、新たにフレイル対策や健康状態不明者対策を行うと説明があったが、対象としている年齢層など具体的な内容を教えてほしい。

〇事務局
　来年度以降、骨折や身体的フレイルの予防など、今お話のあった健康状態不明者対策への取組みを順次進めていく。
　具体的な内容として骨折予防については、検診の結果や、通いの場で行っているチェックリストなどによりスクリーニングを行い、質問票を活用して運動機能を評価し、ハイリスク該当者に保健指導を行い、運動機能を維持向上させる取組みのほか、合わせて普及啓発も行う。
　健康状態不明者対策は、健診や医療、介護の情報がない高齢者に対して、健康状態を確認するためのアプローチを行うという事業。
　いずれも対象は後期高齢者の方である。

◎委員
　フレイル対策は、地域リハビリテーション事業とは別の枠組みになるか。また、対象者は明確に分かれるのか。

〇事務局
　別の枠組みである。基本的にハイリスクアプローチとして介入する対象者は質問票でのチェックで該当した方などになる。検診や介護予防事業等と対象者が重なることがあるかもしれないが、関係機関とも取組みの整合性を図りながら連携して取組んでいく。

◎委員
　資料２の予防費にスマートライフプロジェクトとあるが、どういう事業か。

〇事務局
　厚生労働省が全国的に実施しているプロジェクトで、企業などが自分たちの会社の中で色んな健康づくりの取組みを行うことを宣言したり、実際の取組み内容を公表したりするもの。帯広市でも厚生労働省と同じように実施しており、ホームページ等で健康づくりに取組まれている企業などを公表している。

◎委員
　保健・介護一体的実施推進事業におけるフレイル対策などは、帯広市独自の取組みなのか。それとも北海道などからこういう事業を推進するよう下りてきているものなのか。

〇事務局
　高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施という名称で、国が進めている事業。実施者は広域連合で、帯広市も北海道後期高齢者広域連合から委託を受けて実施している。
　同じ自治体で保有している保健事業や介護保険に関する情報を関係機関で共有し、効果的に支援を進めていこうとするもので、事業のメニューが様々あり、来年度はフレイル対策等を取組む予定だが、今年度までは糖尿病対策を実施するなど、地域の課題とか実情に応じたものを取組んでいくもの。

◎委員
　以前、歯科医師会としてもプレゼンさせていただいた、いわゆる顔のレントゲンから骨粗しょう症の可能性を早期発見できるという話を、歯科検診事業の中に骨折予防と絡められるようなシステムづくりについて、令和８年度は難しいと思うが、令和９年度以降に歯科検診の時にレントゲンを撮ることで骨折予防に繋げていくような、そういう広い視野で事業を考えてもらえればと思う。

◎委員
　全国的に麻しんが流行傾向にあるが、帯広市における麻しんの予防接種の接種率はどのような状況か。一時期８０%台まで落ちた時期もあったと思うが。

〇事務局
　麻しん風しんの予防接種の接種率は、令和４年度で９３．５%、令和５年度で９０．５%、令和６年度で９２．７%と、９割は超えている状況。国の方で９５%以上を目標にしているがそこには至っていない。

◎部会長
　入学前（年長児）に第２期の麻しん風しん予防接種を打つことが基本だが、実際ワクチンが嫌だというご家族の方が一定数いらっしゃる。保育園や幼稚園等を通じて保護者の方に接種を勧めたりしているが、なかなかそこを超えられないのがこの地域の現状。

〇事務局
　帯広市としても、特に第２期接種は年長児のため、乳幼児期に比べ予防接種の種類や間隔が減ることで、追加で接種するものを忘れてしまったり意識が薄くなったりするため、対象者に勧奨等の取組みは実施しているが、麻しん風しんに限らず北海道自体が予防接種全体の接種率が低い傾向もある。ただ、それで良いとは思っていないため、接種勧奨や正しい知識の普及啓発を引き続き取組んでいく。

◎委員
　ワクチンの中身や内容が変わったのか。ワクチンを接種するとひどい後遺症が出るので、接種しないという人が増えているようだが。

◎部会長
　ワクチン自体は変わっていない。そういうニュースが広まって接種を受けたくないという人が増えているのは事実。

◎部会長
　資料２の予防費の肝炎ウイルス検診の予算が減っているが、実績も減ってきていると思う。特定健診や前立腺がん検診は受けている人は毎年増えているが、肝炎ウイルス検診は色々縛りがあるほか、ウイルス薬等でかなり治療もされてきているなど、増える要素はなくなっているんじゃないかと思う。

〇事務局
　肝炎ウイルス検診の受診者数の実績は、令和４年度で６９６人、令和５年度で６２７人、令和６年度で５６４人と、減少傾向である。

◎委員
　肝炎に関する報道が以前に比べて減ってきているという部分もあり、あまり関心がいかなくなってきているのでは。
　また、入院時や施設入所者が検査を受けているケースもあるほか、全身麻酔や内視鏡実施前にも検査を実施している。

〇事務局
　肝炎ウイルス検診の対象者が過去に市の検診を受けたことが無い方のため、受けた方が増えてくると、対象者自体が減少傾向にはなると思う。

◎委員
　資料２の予防費に自殺対策事業費があるが、どういう対策を実施しているのか。

〇事務局
　帯広市では、生きるを支える推進計画という第２期自殺対策計画を策定しており、計画の中に施策を柱立てしている。自殺対策は、複数・複合的な課題・問題が絡み合い、追い詰められてその選択に至るということが分かっているため、そこを予防するためにネットワークの強化や、子供の自殺率が近年高くなっているため、学校等と連携して学ぶ教室を開催する取組みなどを行っている。

◎委員
　帯広市の自殺率は他の自治体と比べて同じくらいなのか。

〇事務局
　令和６年度は北海道の平均よりも少し高い状況。ただ、帯広市の人口規模では単年度だけで評価するのは難しいため、傾向を捉えながら対策を強化していく考え。

◎委員
　自殺者数の割合は高齢者が増えてきているのか。

〇事務局
　帯広市の年代別でみると、働き盛り世代の４０代や５０代が多くなっている。全国的には自殺者数は減少傾向だが、小中高生の自殺者が増えてきている状況。

◎部会長
　後はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
　なければ、この議題については終わらせていただきます。

◎部会長
　次に、「（３）その他」を議題といたしますが、委員の皆様から何かございますか。

　【質疑なし】

◎部会長
　ないようですので、事務局の方からお願いします。

〇事務局
　次回の地域医療推進部会の日程につきましては、部会長と調整の上、委員の皆様にご案内させていただきますので、よろしくお願いします。

◎部会長
　以上で予定されている議事は終了しました。本日は、これで閉会とします。
　ありがとうございました。